

## 2060年に 約1万5千人の人口確保

基本  
方針

### 1 うきはの資源活用と新たな雇用の創出

評価指標

市民一人当たりの年間所得額を、現状（平成29年度）の2,398千円から令和7年度には2,600千円へ上昇させます。



基本  
方針

### 2 地域コミュニティの再生と都市部からの人の呼び込み

評価指標

うきは市への1ターン者（移住者）を、現状（令和元年）の年間69人から令和7年には100人に増加させます。



基本  
方針

### 3 結婚から子育てを経て生涯夢を持ち生活することができるうきは市

評価指標

うきは市の合計特殊出生率を、現在の1.65（平成25～29年）から令和7年には1.80まで上昇させます。



基本  
方針

### 4 時代にあっとうきはの地域づくりと広域的な地域間連携

評価指標

現在（令和元年）、年間31件実施されている広域的連携事業（単なる会議等は除く）を、令和7年までに50件に拡大します。



基本方針 1

## うきはの資源活用と新たな雇用の創出

うきは市に存在する多様な資源を活かして、新たな産業の創出を図るとともに、既存の事業所への事業承継支援を行い、雇用の場を確保します。これにより、現在大きな社会減を示している若い世代について、高校卒業後の地元就職、大学卒業後の地元回帰等を促進するとともに、起業・創業者等の積極的な呼び込みを図ります。



プロジェクト

### 1 農業やうきはの水、テロワールを伝承する 3 事業や仕事をしたい希望を叶える

- ・収益性の高い農業への転換等の支援
- ・農林業の担い手の育成、支援
- ・良質なうきはの地下水や生物多様性のPR

- ・児童生徒の地元企業探訪支援
- ・創業支援の充実

### 2 うきはのブランド力を高める

- ・地域産業資源の洗い出しと商品企画
- ・DMOを中心とした観光振興におけるマーケティングと広報戦略の立案
- ・商品の販路開拓
- ・温泉街のブランドづくり
- ・道の駅開発事業



基本方針 2

## 地域コミュニティの再生と都市部からの人の呼び込み

うきは市の魅力を高め、対外的に情報発信を行うことにより、UJターン者など都市部からの人の呼び込みを図り、多様な価値観を持つ市民の連携を高めることにより、地域の活性化を図ります。



プロジェクト

### 1 空き家の解消に向けて取り組む 3 公共交通や周辺整備に取り組む

- ・まちなみ再生と空き家活用支援
- ・誘致企業で働く就業者への支援

- ・新交通システムの導入検討

### 2 減災・防災のまちづくりを推進する 4 郷土の魅力を高める

- ・防災力強化事業
- ・高齢者安全運転促進事業
- ・公園の再編

- ・近代遺産の活用
- ・歴史的な小道を歩くフットパス事業
- ・現存する歴史的遺産を活かした観光振興事業
- ・知識や能力を身につける「まなび舎うきは」
- ・移住者向けの街なか案内事業



# ルネッサンス戦略の概要

## 基本方針 3

### 結婚から子育てを経て生涯夢を持ち生活することができるうきは市

うきは市が将来的に人口を維持していくためには、子どもを安心して育てられる環境を整備することが重要であり、このために各世代の特性に対応する形で環境整備を進めます。また、高齢化が進むうきは市においては、高齢者自身の生きがいづくりや社会参画を高めていくことが必要であり、この活力を子育て環境の充実に活かしていくことも重要です。



プロジェクト

#### 1 子育て支援を推進する

- ・小中高校における人材育成の推進
- ・地域協働等による高校の魅力向上
- ・子育てママの働く応援事業

#### 2 結婚と出産したい希望を叶える

- ・結婚理解促進活動
- ・出産や不妊にかかる経済的支援
- ・子育て世帯への支援

#### 3 うきはっ子が世界に羽ばたく教育を推進する

- ・英語力アップと異文化理解の相互交流
- ・ICT教育の充実
- ・子どもの生きる力の育成
- ・豊かな心育成事業

#### 4 「うきは市＝健康のまち」を推進する

- ・スポーツと予防医療活動の推進
- ・うきは的健康事業の推進
- ・生きがい対策プログラム
- ・ウォーキングのまちづくりの推進



## 基本方針 4

### 時代にあったうきはの地域づくりと広域的な地域間連携

価値観の多様性や新型コロナウイルスの影響もあり、社会環境が変化する中で、働き方改革や新たな生活様式への対応が必要になっています。うきは市の地域づくりにおいても、今後の社会のあり方を見据えて対応を図っていくことが重要となっています。



プロジェクト

#### 1 デュアルライフを促進する

- ・UJI ターンやデュアルライフの促進
- ・つばめの学校
- ・地域おこしリーダーの育成支援
- ・ワーケーションの推進

#### 2 遠隔技術でつながる新たなスタイルを構築する

- ・生涯学習リモート（遠隔）講座の開講
- ・遠隔でつながる見守り活動
- ・各組織の役員の負担を減らす遠隔技術の活用
- ・協働のまちづくりを推進する遠隔会議の開催
- ・デジタル社会の推進

